



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 日東紡

コード番号 3110

URL <http://www.nittobo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長 (氏名) 辻 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 野崎 有 (TEL) 03-4582-5040

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	40,893	△6.7	5,476	△2.8	5,280	△7.3	3,634	35.4
28年3月期第2四半期	43,808	0.7	5,634	39.0	5,697	44.3	2,684	20.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,034百万円(- %) 28年3月期第2四半期 2,540百万円(△33.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	18.25	—
28年3月期第2四半期	13.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	138,498	73,211	52.2
28年3月期	142,755	75,455	52.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 72,344百万円 28年3月期 74,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年3月期	—	3.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	△3.7	10,800	△0.9	10,500	△4.3	6,000	7.2	30.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	247,677,560株	28年3月期	247,677,560株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	48,489,697株	28年3月期	48,480,946株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	199,192,667株	28年3月期2Q	199,223,103株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資に力強さが欠ける状況が続き、円高基調も継続していることから、景気は横ばいの状態が続く結果となりました。また、米国経済は緩やかな回復を維持しているものの、大統領選挙などの不確定要素をはらんでおり、中国経済の減速や英国のEU離脱問題の影響も払拭できないことから、世界経済は先行き不透明な状況が続きました。

繊維事業では、主力の芯地販売が日本国内、中国ローカル向け、中国からの輸出ともに低迷しました。一方、「日東紡のふきん」などの二次製品販売は好調に推移し、インターネット販売を開始するなど、販路拡大に向けた取り組みを強化しました。

グラスファイバー事業部門に属する原織材事業、機能材事業、設備材事業では、円高基調の厳しい環境下において、高付加価値品へのシフトを加速させ、営業活動の強化およびコストダウンに取り組むことにより収益性の向上に努めました。グラスファイバー事業部門に属する各事業の具体的な取り組みは以下のとおりです。

原織材事業では、スマホ・タブレット向け当社高付加価値品の一時的な需要鈍化や、円高進行による輸入品との競争激化の影響で、強化プラスチック用途の販売が低迷しました。これに対し、お客様のニーズに対応したきめ細かな営業活動に注力し、また生産効率化、燃料コスト改善を図りました。

機能材事業では、海外メーカーとの競争が激化する中で、高機能サーバーや基地局向け等の電子材料用途の需要に対応し、高付加価値品へのシフトを更に推進しました。

設備材事業では、産業資材向け製品の拡販に努めるとともに、堅調な需要の戸建住宅用断熱材においてシェア拡大や新規顧客開拓に努め、また、生産効率化や原価低減により、収益性の向上を図りました。

環境・ヘルス事業では、免疫系診断薬を中心に国内での売上が安定的に推移するとともに、スペシャリティケミカル製品の海外向けの新規案件受注などに注力しました。また、飲料分野では、多品種小ロットの需要に幅広く応えました。

その他の事業は、不動産・サービス事業などの収益確保に取り組みました。

この結果、日東紡グループの売上高は408億93百万円（前年同四半期比6.7%の減収）、営業利益は54億76百万円（前年同四半期比2.8%の減益）、経常利益は52億80百万円（前年同四半期比7.3%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億34百万円（前年同四半期比35.4%の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,384億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億56百万円減少しました。主な要因は、投資有価証券の減少などです。

負債は652億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億12百万円減少しました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少などです。

純資産は732億11百万円となり、自己資本比率は52.2%と前連結会計年度末に比べ0.1ポイント下落しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益52億30百万円、減価償却費20億12百万円などにより53億3百万円の資金が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出5億83百万円などにより9億24百万円の資金が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入38億50百万円、長期借入金の返済による支出50億18百万円、配当金の支払額11億95百万円などにより21億16百万円の資金が減少しました。

これらの結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は192億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて17億90百万円の資金が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績及び足元の業績動向を勘案し、平成28年8月3日に公表いたしました業績予想を修正しております。業績予想の修正につきましては、本日（平成28年11月2日）公表いたしました「平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,891	19,617
受取手形及び売掛金	23,898	24,030
商品及び製品	4,787	5,002
仕掛品	2,828	3,159
原材料及び貯蔵品	13,579	13,456
繰延税金資産	1,884	1,431
その他	1,016	699
貸倒引当金	△27	△7
流動資産合計	65,859	67,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,245	12,582
機械装置及び運搬具（純額）	9,579	8,309
土地	17,396	17,239
リース資産（純額）	4,086	3,820
その他（純額）	764	808
有形固定資産合計	45,072	42,760
無形固定資産	1,891	1,755
投資その他の資産		
投資有価証券	26,599	22,155
退職給付に係る資産	209	209
繰延税金資産	1,695	2,882
その他	1,464	1,381
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	29,932	26,593
固定資産合計	76,895	71,108
資産合計	142,755	138,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,424	7,695
短期借入金	4,636	5,059
1年内返済予定の長期借入金	8,855	7,822
リース債務	637	602
未払法人税等	787	591
賞与引当金	1,267	1,234
その他	5,611	4,839
流動負債合計	29,221	27,845
固定負債		
長期借入金	14,439	14,303
リース債務	4,104	3,798
修繕引当金	4,861	5,078
退職給付に係る負債	12,879	12,424
その他	1,793	1,836
固定負債合計	38,078	37,441
負債合計	67,299	65,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	23,107	23,107
利益剰余金	35,495	37,935
自己株式	△8,954	△8,958
株主資本合計	69,347	71,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,177	3,087
為替換算調整勘定	1,315	△432
退職給付に係る調整累計額	△2,241	△2,094
その他の包括利益累計額合計	5,251	560
非支配株主持分	856	866
純資産合計	75,455	73,211
負債純資産合計	142,755	138,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	43,808	40,893
売上原価	29,232	26,237
売上総利益	14,576	14,656
販売費及び一般管理費	8,941	9,179
営業利益	5,634	5,476
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	245	276
受取賃貸料	42	40
為替差益	52	—
その他	79	71
営業外収益合計	428	394
営業外費用		
支払利息	206	171
為替差損	—	297
その他	158	121
営業外費用合計	365	590
経常利益	5,697	5,280
特別利益		
固定資産売却益	28	5
関係会社株式売却益	182	—
特別利益合計	211	5
特別損失		
固定資産処分損	75	55
減損損失	1,469	—
特別損失合計	1,544	55
税金等調整前四半期純利益	4,363	5,230
法人税、住民税及び事業税	882	1,079
法人税等調整額	785	493
法人税等合計	1,668	1,573
四半期純利益	2,695	3,657
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,684	3,634

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	2,695	3,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△689	△3,090
為替換算調整勘定	393	△1,748
退職給付に係る調整額	140	147
その他の包括利益合計	△154	△4,691
四半期包括利益	2,540	△1,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,529	△1,056
非支配株主に係る四半期包括利益	10	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,363	5,230
減価償却費	2,218	2,012
減損損失	1,469	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△412	△236
修繕引当金の増減額(△は減少)	51	216
受取利息及び受取配当金	△254	△282
支払利息	206	171
固定資産除売却損益(△は益)	46	50
売上債権の増減額(△は増加)	891	△322
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,107	△659
仕入債務の増減額(△は減少)	13	415
その他	△921	△122
小計	8,780	6,473
利息及び配当金の受取額	254	282
利息の支払額	△213	△185
法人税等の支払額	△1,016	△1,267
法人税等の還付額	1,080	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,883	5,303
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△3,018	△583
投資有価証券の取得による支出	△3,004	△0
その他	△102	△340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,124	△924
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	672	603
長期借入れによる収入	4,070	3,850
長期借入金の返済による支出	△4,134	△5,018
配当金の支払額	△996	△1,195
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△334	△341
その他	△23	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△745	△2,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	△472
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,068	1,790
現金及び現金同等物の期首残高	15,481	17,466
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,550	19,256

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	繊維事業	原繊維事業	機能材事業	設備材事業	環境・ヘルス事業	その他(注)1	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
外部顧客への売上高	2,708	13,940	8,969	10,457	6,783	948	—	43,808
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	2,994	131	890	170	119	△4,311	—
計	2,713	16,935	9,101	11,348	6,954	1,068	△4,311	43,808
セグメント利益又は損失(△)	△206	2,271	1,392	676	1,648	67	△215	5,634

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△215百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	繊維事業	原繊維事業	機能材事業	設備材事業	環境・ヘルス事業	その他(注)1	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
外部顧客への売上高	2,495	11,552	8,687	10,484	6,764	909	—	40,893
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	3,606	114	710	186	149	△4,769	—
計	2,497	15,158	8,802	11,194	6,950	1,059	△4,769	40,893
セグメント利益又は損失(△)	△227	2,193	1,327	928	1,720	91	△557	5,476

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△557百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。